

# 第2学年 道徳科学習指導案

第2学年3組 31名  
指導者 尾形 美希

## 1 主題名 あたたかい心

B - (6) 親切, 思いやり	身近にいる人に温かい心で接し, 親切にすること。
---------------------	--------------------------

## 2 主題設定の理由

### (1) ねらいや指導内容について

よりよい人間関係を築いていくためには、温かい心で相手に接することが大切である。幼い人や友達に温かい心で接することによって、相手への親切な行いが生まれる。そして、自分が人の役に立ったという喜びを感じることができ、これからも思いやりのある行動をしようとする意欲が高まる。低学年では、家族だけでなく家の周りの人や学校の人々、友達などとの関わりが次第に増えてくる。そして、様々な人々との関わりの中から、相手の考えや気持ちに気付くことができるようになる。そこで、相手のことを考え、優しくすると自分も温かい心になることに気付かせ、相手の喜びを自分の喜びとして受け入れ、親切にしていこうとする心情を育てたいと考え、本主題を設定した。

### (2) 児童の実態

本学級の児童は、休み時間には互いを誘い合って遊んだり、友達が困っていたら声をかけ助けたりしている。帰りの会で行っている「ほめ言葉シャワー」では、友達の素敵な行いや頑張っていることを発表している。その中で、「当番が1人の時に、Aさんが手伝ってくれました。」「算数の勉強で分からない問題を教えてくれました。」など、友達にしてもらって嬉しかったことを発表する児童もいる。親切にすると喜んでもらえることを実感し、少しずつではあるが、進んで親切にしようとする児童が増えてきた。

そこで、親切にすることで、相手と心が通じ、温かい関係が生まれることを改めて実感させ、思いやりの気持ちをもって身近な人に親切にしていこうとする心情を育てたい。

### (3) 教材について

(教材名「とくべつなたからもの」)

出典：小学 道徳 豊かな心 光文書院

くまは、ママに作ってもらったかぼんを持って出かけた。どんぐりや葉っぱを見つけ、かぼんが宝物でいっぱいになった時、穴に落ちたねずみの子に出会う。そこで、宝物を諦め、かぼんにねずみの子を入れて助け出す。その後、ねずみの子から渡されたたった1つのどんぐりを「とくべつなたからもの」と感じる。

ねずみの子が感謝の気持ちでどんぐりを渡す姿から「とくべつなたからもの」の意味を考える。そして、親切にすると互いに温かい心になることが分かり、身近にいる人に親切にしようとする意欲を高め、ねらいとする価値に迫りたい。

### (4) 主体的に考え、伝え合い、響き合うための工夫

導入では、自分にとっての大切な宝物やその理由を考えることで、教材への興味をもつことができるようにする。かぼんが宝物でいっぱいになった様子を掲示することで、くまの嬉しい気持ちを確かめるとともに、くまにとって宝物が大切なものであることに共感できるようにする。

宝物を諦めてまでねずみの子を助けようとした場面では、ペアで話し合うことで、友達の意見に触れ、より考えを深められるようにする。たった1つのどんぐりを受け取った場面で役割演技をすることにより、くまやねずみの子の心情に共感できるようにする。さらに、くまとねずみの子の両者の気持ちを全体に聞くことで、多面的に考えることができるようにする。

### 3 本時の学習

#### (1) ねらい

「とくべつなからもの」について考えることを通して、親切にすると互いに温かい心になることが分かり、身近な人に対して親切にしていこうとする心情を育てる。

#### (2) 展開

過程	学習活動	主な発問と予想される反応	指導上の留意点 ☆評価の視点
導入	1 自分にとっての宝物は何か考える。	○大切な宝物はありますか。 ・ゲーム ・おもちゃ	○児童に理由も問うことで、教材への興味をもつことができるようにする。
		とくべつなからものとはなんでしょう	
展開	2 「とくべつなからもの」を読み、話し合う。 (1) かばんが宝物でいっぱいになったときのくまの気持ちを考える。  (2) 宝物を諦めたらねずみの子を助けることができる気が付いたときのくまの気持ちを考える。  (3) どんぐりを受け取ったときのくまの気持ちを考える。	○かばんが宝物でいっぱいになったとき、くまくんはどんな気持ちだったでしょう。 ・嬉しいな。 ・大切にしたいな。  ○かばんにねずみの子が入れば、両手を使って登れることに気付いたとき、くまくんはどんなことを考えたでしょう。 ・宝物は大切だから捨てたくないな。 ・宝物はまた集めたら大丈夫。 ・ねずみの子を助けたい。	○かばんが宝物でいっぱいになった様子を掲示することで、くまにとって大切な宝物であることに共感できるようにする。  ○くまの気持ちをペアで話し合うことで、友達の意見に触れ、考えを深めることができるようにする。 ○「宝物を諦めることができるのか」と問い返すことで、宝物よりもねずみの子を優先したくまの気持ちに気付くことができるようにする。 ○どんぐりをもらう場面の役割演技をし、くまやねずみの子の気持ちを考えることで、温かい心に気付くことができるようにする。そして、どんぐりが特別な宝物になったことに共感できるようにする。
	3 自分の生活を振り返る。	○周りの人に温かい心を届けるためには、どうしていけばいいでしょう。 ・困っている人がいたら優しく声をかける。 ・友達が喜ぶことをする。 ・親切にしてもらったら感謝の気持ちを伝える。	○これまでの経験を思い出すことで、これからの生活について考えることができるようにする。 ☆温かい心をもって親切にすることのよさが分かり、これからも親切にしていこうとする思いをもっているか。  (ワークシート)
終末	4 本時のまとめをする。	○1年生からのお礼の手紙を聞きましょう。	○1年生の気持ちを知ることで、親切にしたときのよさに気づき、身近な人に親切にしていこうとする意欲を高める。